トピックス:地デジ特質疑 ダイジェスト

地デジ特質疑 ダイジェスト

● 地方創生及びデジタル社会の形成等に関する特別委員会(2023/03/29)



- 1.AI政策について
- 2.デジタルアーカイブ政策人ついて
- 3.条例による有害図書指定について

AI政策について



- ① AI生成物の著作物性やAI生成物による著作権侵害の成否等、さまざまな著作権法上の課題が噴出ているが、それらの課題を把握しているのか、政府の見解は?
- ② 政府は2019年以降、AI戦略を策定してきたが、その中でAIに関する著作権法上の課題について、何か方向性が示されているのか?
- ③ 2018年の著作権法改正では、AIによる深層学習は権利者の利益を通常害さない行為類型であるとして、30条の4という権利制限規定が新設されたが、具体的にどのようなAI開発を適法化するための法改正だったのか?
- ④ 著作権法30条の4によっても、適法化されないAI開発とはどのようなものなのか、同条ただし書きの「当該著作物の種類及び用途並びに当該利用の態様に照らし著作権者の利益を不当に害することとなる場合」としてどういった場合を想定していたのか?
- ⑤ AI生成物について、AIの利用者が著作者として著作権法75条以下の「登録」をすることができるのか、国会図書館法24条以下の納本制度になるのか、国の制度においても問題が生じうるが、それぞれ現在の政府、国会図書館の見解は?
- ⑥ 著作権をはじめとする知的財産権に関するルールメーキングを含め、総合的なAI政策を継続 的に議論する政府部局の設置が必要と考えるが、政府の見解は?

デジタルアーカイブ政策について



- ① デジタルアーカイブ推進は、国のデータ戦略の柱の一つであると考えるが、 現在の包括的データ戦略ではどのような位置付けなのか?
- ② 包括的データ戦略を担うデジタル庁・デジタル社会共通機能グループには、 著作権法を所管する文化庁著作権課や日本のデジタルアーカイブ政策 を牽引している国会図書館電子情報部からの出向者が不可欠であると 思うが、現状それらの出向者はいるのか、いないとすれば早急に体制整備 すべきと考えるが、政府の見解は?
- ③ デジタルアーカイブはデジタル社会における文化・経済・教育等のあらゆる 戦略の基礎となるものであり、デジタルアーカイブ振興法のような推進基 本法を制定し、法律上の根拠に基づく政府部局において、基本計画を 策定した上で、十分な予算措置のもとに政策を進めるべきと考えるが、政 府の見解は?

条例による有害図書指定



✓ 条例によるインターネット空間の規制を認めると、デジタル社会の混乱を招き、 日本社会のDXの阻害ともなるため、極力認めるべきではないと考えるが、政 府の見解は?

条例による有害図書指定



山田太郎議員が有害図書指定について質疑「各自治体の条例が全国に波及 しネット販売に影響」

live.nicovideo.jp/watch/lv340772...

河野太郎デジタル大臣は「地理的な制限を超えて色々な事ができるデジタルの特性を阻害しかねない。2000個問題と同じことにならないよう見ていきたい」と答弁。#国会中継 #有害図書



【国会中継】参議院 地方創生及びデジタル社会の形成等に関する特別委員会 ~ 令和5年3月29日~

出典: https://twitter.com/nico_nico_news/

status/1640969424084819968